

君津市DX(デジタル・トランスフォーメーション)推進計画 概要版

スマートなまち 君津へ

～便利を実感！あなたによりそうデジタル化～

市民、企業、行政のネットワークから
新たな価値を創造する

デジタルの枝葉を広げ、たくさんの花を咲かせ、大きな果実を实らせよう！

全市民がデジタルの恩恵を享受
デジタルの幹を育てよう！

スマート自治体
デジタルの根を張ろう！

ひとが輝き 幸せつなぐ きみつ



方針1 市民サービスを より便利に！

- ◎マイナンバーカードの普及促進
- ◎マイナポータルを活用した
手続きのオンライン化
- ◎電子申請受付システムを活用した
手続きのオンライン化
- ◎デジタルデバインド対策
- ◎書面・押印・対面規制の見直し
- ◎書かない窓口
- ◎行かなくてもよい窓口
- ◎GIGAスクールの推進
- ◎図書館サービスのDX化推進

方針2 行政経営を より効率的に！

- ◎自治体情報システムの
標準化・共通化
- ◎自治体のAI・RPA等の
業務効率化ツールの利用推進
- ◎テレワークの推進
- ◎庁内情報系システムの
合理化・適正化
- ◎電子決裁（文書・財務）の
本格導入
- ◎市立保育園・こども園の
デジタル化

方針3 地域社会をより元気に！

- ◎AI・IoT等の先進技術を活用した
地域課題の解決と新たな価値創造
- ◎デジタル技術を活用した
 - ・安全安心の確保
 - ・観光振興
 - ・健康増進事業の展開
- ◎市域ネットワークの最適化
- ◎市政情報の配信
- ◎キャッシュレス決済の推進
- ◎中小企業のDX支援
- ◎オープンデータの推進

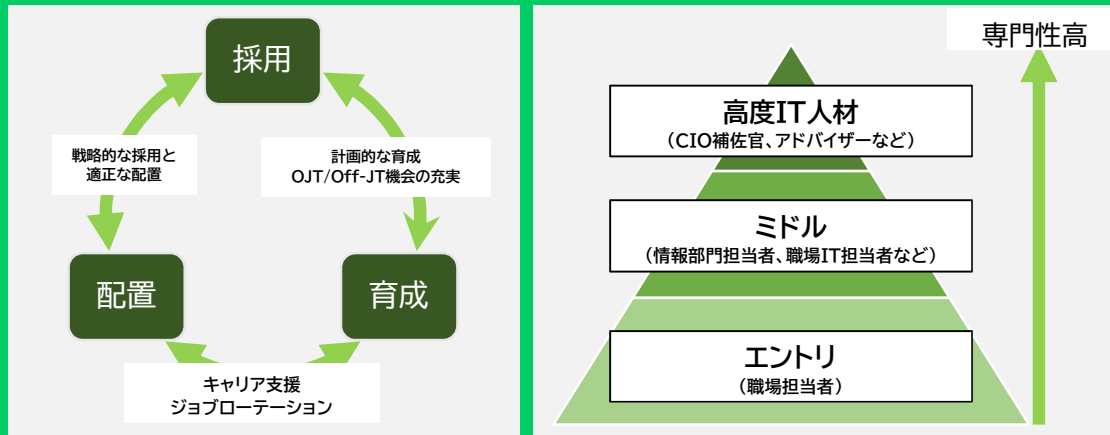
方針4 DXにふさわしい セキュリティ対策に！

- ◎君津市情報セキュリティポリシー
の定期的な見直し
- ◎より高いセキュリティレベルの
セキュリティクラウドへの移行
- ◎ネットワーク体系に適した
セキュリティ施策の実施

君津市DX(デジタル・トランスフォーメーション)推進計画 概要版

| DX (デジタル・トランスフォーメーション) | 策定の目的 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ▼DXとは、ICTの浸透が人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させること ▼複雑化する社会課題の解決にはデジタル技術が社会に浸透し、社会全体のDXが必要 | <ul style="list-style-type: none"> ▼快適で安心して暮らせるまち、そして次世代につながるスマートなまちへの変革 ▼市民の皆さんがいつでも、どこでも、必要な時に行政サービスを受けることが可能となるデジタル市役所、全市民がデジタルの恩恵を享受できる世界の実現 |
| 計画の位置づけ | 計画期間 |
| <ul style="list-style-type: none"> ▼君津市総合計画をデジタル化の側面から支援 ▼官民データ活用推進基本法に規定されている「市町村官民データ活用推進計画」の位置づけ。また、デジタル社会形成基本法第14条の地方公共団体の責務を内包 | <p>「デジタル・ガバメント実行計画」及び「自治体DX推進計画」の対象期間と同様に2026年3月まで</p> <p>※ICTをめぐる技術革新の動向、国の方針等を踏まえ、必要に応じて計画の見直し</p> |

DX人材の確保と成長

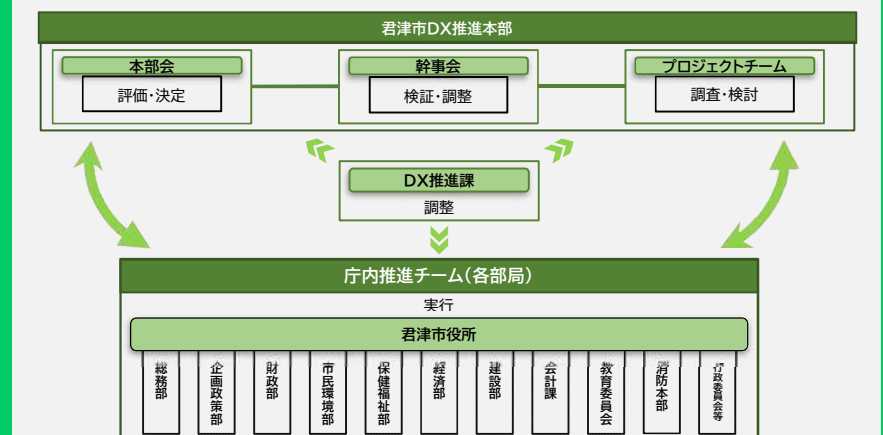


高度IT人材の採用から庁内のICTリテラシー向上の裾野を広げる取組まで、採用・育成・配置の多面的なアプローチでDX人材の確保・職員の成長を促す。

職員の意識改革

本計画を強力に推進するためには、職員の意識改革が必要不可欠である。特に業務工程・意思決定の迅速化、前例踏襲主義や縦割り行政から脱却し主体的に動く組織の構築、市民目線のサービスデザインに留意して推進していく。

DX推進体制



本市のDX推進体制は、DX推進課を事務局として、本国会、幹事会、プロジェクトチームで構成される君津市DX推進本部において、調査検討、調整、評価、決定する。

DX推進本部からのトップダウンの指示に加え、庁内推進チームからのボトムアップの動きとプロジェクトチームにおけるテーマ毎の横の連携を噛み合わせることで、循環の輪を形成し、全庁的にDXを推進する。